

専門部会における協議概要

令和5年11月

1 専門部会（全体会・分科会）全体像 …P3

2 第1分科会

- ・ 主な意見等 …P6
- ・ （参考）若者・若手職員ワークショップでの意見等 …P7

3 第2分科会

- ・ 主な意見等 …P9
- ・ （参考）若者・若手職員ワークショップでの意見等 …P10

4 第3分科会

- ・ 主な意見等 …P11
- ・ （参考）若者・若手職員ワークショップでの意見等 …P12

5 全体会（11月7日専門部会）

- ・ 主な意見等 …P13

（1） 第3回専門部会（全体会）（10/5開催）

<次第>

- ・報告事項 ①若者・若手職員ワークショップについて
②令和5年度第1回宮崎市総合計画審議会について
③前回会議（7月31日第2回専門部会）で寄せられた意見等への対応について
- ・協議事項 基本構想（素案）について
- ・その他 今後のスケジュールについて

<当日の流れ>

- ・ 新たに加わった委員の紹介
- ・ 前回（7月31日第2回専門部会）以降の取組状況について報告
- ・ 事務局からデータ集を用いて本市の現状等を説明
- ・ 若者・若手職員ワークショップ結果やデータ集等を踏まえ、基本構想（素案）について協議（質疑応答、委員間協議）

■ 全体に関する意見等

➤ 若者ワークショップを踏まえた視点

- ・ 課題を誰がどのように解決していくかということを考える場面が多かったが、そういった際に、例えば市役所が何か支援をする、特定の業種の特定の企業が何か仕組を導入するといった考えが多い印象ではあったけれども、やはり宮崎市を作っていくべき主体というのが本来は誰なのかということを考えると、宮崎市民、若者の訴えかけで取組ができる環境、多様な業種、企業が一体となって、分野を融合させて、サイクルやシステムを循環させていくというのも非常に重要と感じた。
- ・ 未来の子供たち、未来の大人になる子供たちにとってこの「開かれた」宮崎市というキャッチワードがよく浸透していけるような計画に今後一緒にできればよいと思う。

（2） 第4回専門部会（第1回分科会）（10/12開催）

<次第>

- ・ 協議事項 基本計画（骨子案）について

<当日の流れ>

①本市の現状について

- ・ 事務局から各分科会の所管分野に関する本市の現状について説明
- ・ 質疑応答

②基本計画（骨子案）について

（分科会委員を班に振り分け、ワークショップ形式で協議検討）

- ・ 基本計画（骨子案）について協議
（「政策」「重要施策」「基本施策」の体系（案）を踏まえ、不足している施策、六次総で新たに追加すべき視点などを協議）

③まとめ

- ・ 各班ごとに②の主な意見を発表し、内容を共有
- ・ 質疑応答、委員間協議

（3） 第5回専門部会（第2回分科会）（10/24開催）

<次第>

- ・ 協議事項 基本計画（骨子案）について

<当日の流れ>

①第1回分科会で寄せられた意見等について

- ・ 事務局から第1回分科会で寄せられた意見等について説明
- ・ 質疑応答、委員間協議

②基本計画（骨子案）について

- ・ 第1回分科会を踏まえた基本計画（骨子案）について協議
- ・ 基本計画（骨子案）推進のために、各主体が取り組むべきことについて協議※1

※1 行政、市民、企業（団体）の役割について協議

- ・ 質疑応答、委員間協議

（4） 第6回専門部会（全体会）（11/7開催）

<次第>

- ・ 報告事項 分科会における協議概要について
- ・ 協議事項 基本構想（素案）について
基本計画（骨子案）について
- ・ その他 今後のスケジュールについて

(5) 各分科会への所属（○：分科会長）

分科会	専門部会委員（既存委員）	分科会委員（追加委員）	関係課長（内部委員）
第1分科会 【経済・産業・都市基盤】 （計27名）	・JA宮崎中央 ・宮崎市観光協会 ・宮崎銀行 ・みやPEC ・宮崎交通 ・宮崎商工会議所 ○宮崎大学 ・宮崎労働局 ・ICT協議会 ・宮崎港振興協会 （10名）	・株式会社コンフォートゲイター ・SAP会議 ・大学生（2名） （4名）	・企画政策課 ・都市戦略課 ・農政企画課 ・観光戦略課 ・産業政策課 ・建築住宅課 ・まちづくり課 ・デジタル支援課 ・新庁舎整備課 ・農業振興課 ・スポーツ推進課 ・企業立地推進課 ・都市計画課 （13名）
第2分科会 【福祉・医療・共生社会】 （計16名）	○宮崎市郡医師会 ・宮崎日日新聞社 ・社会福祉協議会 （3名）	・有限会社 聖 ・大学生 ・若手職員（地域コミュニティ課） ・若手職員（社福第二課） （4名）	・秘書課 ・文化・市民活動課 ・障がい福祉課 ・介護保険課 ・健康支援課 ・地域コミュニティ課 ・福祉総務課 ・地域包括ケア推進課 ・社会福祉第一課 ・新型コロナウイルス対策課 （10名）
第3分科会 【子育て・教育・環境・防災・行財政運営】 （計27名）	・宮崎県連合会 ・中小企業家同友会 ・みやざきママパハッピー ○みやざきエコの会 ・宮崎市保育会 ・幼稚園協会 （6名）	・大学生（2名） ・若手職員（情報政策課） ・若手職員（企画総務課） （4名）	・人事課 ・財政課 ・環境政策課 ・子育て支援課 ・保育幼稚園課 ・保健衛生課 ・学校施設課 ・教育情報研修センター ・消防局総務課 ・市役所改革推進課 ・危機管理課 ・環境業務課 ・子ども家庭支援課 ・親子保健課 ・企画総務課 ・学校教育課 ・生涯学習課 （17名）

第1回

【経済成長・産業分野に関する意見等】

- ・ スタートアップ支援
- ・ 創業や開業しやすい環境づくり
- ・ 後継者不足と高齢化への対応（農業分野）
- ・ 戦略的企業誘致（産業用地の確保）
- ・ 企業のデジタル化
- ・ 地場企業育成、市内企業の海外進出
- ・ 二拠点化の推進
- ・ 外国人労働者の積極採用 等

【都市基盤に関する意見等】

- ・ 地域交通の維持
- ・ LRT（ライトレール）整備
- ・ ライドシェア
- ・ モーダルシフト推進
- ・ まちなかの規制緩和
- ・ 空き家、空き店舗の活用
- ・ リラックスした街、くつろげる街
- ・ ニシタチ（食と酒） 等



第2回

■ 経済成長・産業分野に関する意見等

➤ ワンストップでの成長支援

- ・ 企業の成長段階の課題に応じてワンストップで相談できる仕組みが重要。

➤ デジタル基盤の整備

- ・ 市のオープンデータを市民や事業者を活用いただくなど、官民でのデータ共有、利活用が重要。

➤ 企業誘致に関するビジョンの必要性

- ・ 企業を誘致していくにあたって、市はどのような企業・産業・業種に支援をするのか、どの産業を集積させるのかといったビジョンを持ち、企業に響くアプローチや市としての考え方を示すことが重要。

➤ 選ばれる取組の必要性

- ・ 競合する他都市と比較し、本市に移住したくなる施策（医療、子育て等）が必要。
- ・ 外国人材が働きやすい環境の土台として、文化交流が促進されるような取組が必要。

■ 都市基盤に関する意見等

➤ 中心市街地のトータルデザイン

- ・ 中心市街地がどこからどこまでを指すのか広く共通認識を持ち、関係団体が一体となって課題解決に取り組めるような目標のようなものを示すとよい。
- ・ 中心市街地再生の実現には、商業機能や公共空間など、トータルデザイン、マネジメントが必要。

■ 全体に関する意見等

➤ 協働の視点

- ・ 市民が参画し自ら発信するなど、もう少し市民が主体的に関わっていくといった視点は非常に重要。

➤ 公民連携の仕掛け

- ・ 市民、事業者等、行政の三者が連携していくような場、ビジョンを作り、必要に応じて、どんどん変わっていくような仕掛けも入れていただきたい。

分野	具体的な「10年後に実現してほしいこと」	
<p>雇用・就労 (24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも挑戦しやすいまち ・若者が住みやすい街（就職） ・就職したいと思ってもらえる ・県外の入学から宮崎市への就職者数1.5倍 ・Uターン・Iターンの増加 ・新卒取って ・ワークライフバランスが整っている ・東京と変わらないレベルの平均年収になっている ・最低賃金があがる（2） ・時給・最低賃金1,500円（3） ・最低賃金1,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・残業代が出ない？ ・大きな企業の誘致（2） ・大企業の支店ができる ・企業支援充実 ・会社員・公務員の副業を解禁（規制緩和） ・高齢者雇用 ・新規就農者数の増加 ・農業人口増・若年層の増 ・宮崎で有名人が農業を始めることで、宮崎で農業を始める人が増加
<p>観光・商工・都市魅力 (24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地の整備 ・新しい観光スポット ・自然・グルメ以外の観光スポット （例：遊園地、水族館） ・安定した外国人観光客誘致 ・観光施設の効率的な広報連携 ・全部のスポーツの日本代表は宮崎でキャンプ ・宮崎県産の食べ物が買えるアンテナショップの増加 ・まちなかイベント増加 ・商店街の活性化（シャッター街がなくなる） ・空き家を使って宮崎が活性化している ・倉庫型ショッピング施設をオープン ・フェス（大型）やってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・チキン南蛮を超える「宮崎と言えば」の食べ物の誕生 ・遊びにいける場所の増加 ・廃墟地を遊ぶ場にする（地域） ・公共施設（図書館・公園）の整備 ・花や緑がきれいな道路 ・ふるさと納税日本一 ・公民連携 ・コスバのいい農業 ・宮崎ブランド農作物海外へアピール ・新しい農業・IT・大規模・法人化 ・水害等で被害を受けた農家サポート ・卵・野菜等の物価高による振り上げ不振の改善

最低賃金に関する意見多数

分野	具体的な「10年後に実現してほしいこと」
総合交通 (7)	<ul style="list-style-type: none">・公共交通機関利便性向上・交通の便をよくする・交通渋滞の改善・交通インフラを整えて生活しやすい街を目指す (路線バスの再編)・電車・バスの本数が増える(企業への補助)・自転車利用者のための整備(レーン)・新幹線・地下鉄
デジタル (3)	<ul style="list-style-type: none">・企業のITデジタル化支援・スマートシティIT基盤整備・どこでもWi-Fi

第1回

■ **健康・医療・福祉分野に関する意見等**

- ・ ころ、からだの健康づくりの推進
- ・ 健康寿命を維持するための取組
- ・ 在宅医療の推進
- ・ 訪問診療が充実したまちづくり
- ・ 新興感染症への対応
- ・ どんな困りごとでも相談できる仕組の確立
- ・ デジタル技術を活用した情報共有 等

■ **共生社会・市民活動分野に関する意見等**

- ・ 外国人が住みやすい、住んでみたいと思えるまちづくり
- ・ 障がい者の就労環境改善（交通手段確保）
- ・ 性的マイノリティも暮らしやすい制度
- ・ 対話文化の醸成
- ・ みんなあ分かちあえる社会づくり
- ・ スポーツや文化を核として地域づくり
- ・ 子どもや高齢者、外国人が安心して生活できる地域 等

第2回

■ **健康・医療・福祉分野に関する意見等**➤ **在宅医療等での医療と福祉の連携推進**

- ・ 在宅医療を受ける方が長く生活していくためには、医療と介護が連携して支えていく、生活の質を維持していくことが重要。
- ・ 連携推進のためにもデジタル技術を活用し薬や既往歴が1つのツールで分かるような情報連携の仕組みが必要。

➤ **医療・福祉人材の確保**

- ・ 人材の確保には、外国人雇用についても重要。
- ・ 多職種と連携できる人材の育成が必要。
- ・ 介護人材の育成については、技術的な研修だけではなくビジネス（接遇面など）の視点も必要。

■ **共生社会・市民活動分野に関する意見等**➤ **性的少数者の理解促進**

- ・ そもそも性的マイノリティの方々がどのようなところに暮らしにくさを感じているのかを理解することが必要で、それに対し行政等がどうしていくのかについても計画に盛り込まれるといい。

➤ **女性活躍の推進**

- ・ 男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの推進と並び重視されている観点。

➤ **支えあう地域づくり**

- ・ 地域全体で、みんなで支えあう、安心できるといったニュアンスがあると良い。
- ・ 福祉分野の専門職人材（作業療法士等）を有効に活用し地域活動に参加できると良い。

■ **全体に関する意見等**➤ **分かりやすい表現**

- ・ 誰が見るのかを考え、分かりやすい言葉にすべき。行政的な言い回しではなく広く市民が理解できるような表現にしたほうがより浸透しやすい。



分野	具体的な「10年後に実現してほしいこと」	
<p>健康・医療・福祉 (26)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脱！肥満率上位 ・健康な人が多くなる仕組みづくり ・病院まとめHPとかあると良い・・・？ (何科とかわからない！！) ・地域特性にあった医療機関の設置 ・医療費がもっと安くなってほしい ・専門的な医療を受けれるまち ・土日や夜間も病院を受診しやすい ・自宅で診察を受けられる・薬を届ける ・医療費無料！ ・いろんな人が病院を受診しやすい ・全ての病院でTelとかネット予約できるといいなあ・・・ ・健診とか病院とか、迎えに来て欲しい・・・ ・自宅に薬を届けてくれるサービス欲しい！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで自宅で生活できるまち ・自宅介護者への支援の推進 ・高齢者が生活しやすい環境 ・高齢者が安心して暮らせる ・高齢者をひとりにしないまち ・1人暮らしの高齢者を一人にしない ・地域でお年寄りへの声掛けや見守りが行われるまち ・高齢者が長く健康で入れるよう運動ができる施設があるまち ・老後に困らないまちづくり ・老後ひとりではさみしいので、だれかと一緒にすみたい・・・(シェアハウス的な) ・バリアフリーな場所が多いまち ・車椅子の方専用駐車場を増やす ・ガタガタした道をきれいにしてほしい <p>高齢社会を見据えたまちづくり</p>
<p>共生・多様性 (12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人にもやさしいまち(3) ・外国人が住みやすいまち ・外国人がひとりで困らないまち ・外国人も働きやすいまち ・外国人と交流できるイベントを増やす <p>外国人関連が多数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・性別にかかわらず活躍できる ・LGBTQの方々も住みやすい ・障がいの方でも気楽に働ける ・女性が活躍できる場が増えてほしい ・多世代で助け合えるまち
<p>若者活躍・市民活動 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の可能性を広げられるまち ・若い世代が積極的に地域づくりを行う ・地域の中のコミュニケーション <p>若い世代による地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流がたくさんある ・街中太極拳のあるまち

第1回

【子ども・子育て・教育分野に関する意見等】

- ・ 多世代連携による子育て支援の推進
- ・ 男性の育児休業促進
- ・ 子どもが遊び・学べる場の整備・充実
- ・ メディアリテラシー教育の充実
- ・ 子どもが地域に関わる機会づくり
- ・ シビックプライドの醸成
- ・ 教職員が過ごしやすい環境の整備 等

【環境・防災・行財政分野に関する意見等】

- ・ カーボンニュートラルの推進
- ・ 環境教育の充実
- ・ エシカル消費の啓発
- ・ 自家用車社会からの脱却
- ・ 南海トラフ地震への対策強化
- ・ 消防団組織の充実
- ・ 稼ぐ市役所の推進
- ・ 公共施設の集約化
- ・ サイバー攻撃への対策 等



第2回

■ 子ども・子育て・教育分野に関する意見等

➤ プレコンセプションケアの重要性

- ・ 少子化対策を推進するにあたって、今後は加齢による身体変化等について学ぶことも重要になる。

➤ 質の高い幼児教育・保育に向けた取組

- ・ 不適切保育等の問題もあるため、質の高い幼児教育・保育といった方向性が重要になる。
- ・ 保育士や幼稚園教諭といった人材の確保、家庭教育の向上、小学校との連携の充実等の視点も必要。

➤ 教育分野における公民連携

- ・ 教職員の働き方改革に関連し、民間企業が教職員の負担の一部を担う取組があると良い（キャリア教育、防災教育等）。

➤ メディアリテラシーの重要性

- ・ 児童生徒もスマートフォンやタブレット端末が手元にある時代であるが、ネットの書き込みの善悪、誹謗中傷やその脅威が分かっていないままの状態が非常に怖く、そこに対する教育について、その重要性や正しい知識を理解した人が丁寧に行っていくことが必要。

■ 環境・防災・行財政運営分野に関する意見等

➤ 南海トラフ地震への危機感を持った備え

- ・ 東日本大震災や熊本地震の時には行政がかなり混乱したという事例もあるので、行政そのものが被災しない取組や、行政内部での情報連携等の部分について、いつ発生するか分からない南海トラフ地震に備え、危機感をもった施策の位置づけをすべき。

➤ 防災教育の重要性

- ・ 今の小学生は東日本大震災の記憶がない児童生徒も多い。実際に南海トラフ地震が発生した際には、その津波で自分たちの学校周辺がどこまで浸水するのか学び、どのように対応すればいいのかという防災教育を、全ての学校でやっていく必要があると思うので、行政の役割の部分をもう少し詳しく書けると良い。
- ・ 防災教育については、市内一律で行うよりも、各地域の特性があるので、地域としっかり連携しながらそれぞれ推進していくことが必要。

分野	具体的な「10年後に実現してほしいこと」	
<p>子ども・子育て (27)</p> <p>金銭的な支援のほか、 子どもが遊べる場所に関する 意見が多数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに必要な金銭的な支援が充実している (3) ・子育てに一番お金がかからない自治体 ・出産一時金200万円 ・保育園の無料化 ・出生率の向上 ・出産しやすいまち ・子どもを産み育てやすい ・保育園等に困らない ・職場の中に子育て支援(あずかり)してくれる施設 ・どんな時でも子供を安心して預けられる場所がある ・子どもを一時的にあずける施設 ・放課後等デイサービス拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとのびのび遊べる場所が多い (2) ・安全な子どもの遊び場がある ・子どもが遊べる場所(公園・遊園地) ・子どもたちが自然で遊べる ・職業体験施設 ・子どもが外で遊んでいるのが目に見える ・子どもが大人とたくさん関わることができる ・地域で子どもを育てる ・男性でも子育てに関わりやすい社会環境があること ・男性の育休取得率が高い ・1人親世帯支援 ・子どもの自殺率の低下
<p>教育 (13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校まで無償化 (2) ・給食費無償化 ・大学の教科書代補助 ・進学先が多い ・進学だけでなく就職に向けた教育 ・様々な分野の大学がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ができる人が多い ・本にたくさん触れられるまち ・宮崎について学べるまち ・不登校の児童・生徒へのサポート ・子どもがのびのび暮らせる・過ごせる校則 ・先生が過ごしやすい
<p>環境 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空気がきれい ・再生可能エネ導入 ・eco家電購入が促進できる制度 ・EV車の充電ステーション増設 ・建物上太陽光パネル 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物緑化 ・街・海のごみを無くす ・ゴミが荒らされない環境になること ・ゴミが散らからないような対策 ・ゴミ回収ネットではなくBOX
<p>安心・安全・防災 (12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事件や事故が少ないまちNO.1 ・暗すぎる道をなくす ・小学生(特に低学年)が安全に通学できる ・ドラレコ取付費用の補助金を交付 ・交通安全(一時停止強化) ・歩行者が横断歩道以外通らないよう注意 ・ナイフ等による傷害・殺人がたまにある→職質 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の高いまち ・自主防災組織を増やす ・防災に強い意義のある自治会活動を促進する ・家庭防災の意識を高めるようなイベントを行う ・災害被害にあいやすい古い家をどうにかする

■ 基本構想に関する意見等

➤ 公民連携の視点について

- ・ 行政と市民と民間事業者などの主体の皆さんがどのように手を携えながら創っていくのか、実現に向けての考え方や手法といったものが基本構想にあった方がいい。

➤ 将来の都市像「開かれたまち」、目指すまちの姿（未来の姿）について

- ・ 未来を切りひらくという意味を込めて、「拓く」の方が適しているように思える。

■ 基本計画に関する意見等

➤ シビックプライドについて

- ・ 市民は県都の宮崎市に住んでいるという誇り、事業者はそこで事業をしている誇り、そして行政はそこに携わる誇りのようなものが計画のどこかに盛り込まれると、計画推進にあたって、「各主体の役割（できること）」をやる動機となり、市民や事業者の協力を得やすくなるのではないか。

➤ 市政情報の発信について

- ・ 行政の役割として「情報発信を強化する」という表現があるが、市も関係機関も既に情報発信は行っている。むしろ市民側としては、たくさんの情報から把握、取捨選択しなければならない。ただ発信するのではなく、より分かりやすく発信することを意識する必要がある。

■ 全体に関する意見等

➤ 計画策定後の取組について

- ・ 計画を策定したその先の姿として、どのような形で知ってもらうか、届けるかを考えたときに、やはり冊子ベースではなかなか浸透するのは難しい。ページ数を少なくして、イラストや図が入り、QRコード等から見る事が可能で、市民の誰でも見ることができるよう形にすべき。
- ・ 子ども向けには「開かれた」明るい未来を想起でき、大人が見てもワクワクするようなものを作った方が良い。

